

株式会社静岡銀行との、観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合を活用した『しずおか観光活性化ファンド』の設立について

株式会社地域経済活性化支援機構(以下「当機構」という。)は、本日、株式会社静岡銀行と、観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合(以下「観光マザーファンド」という。)の当機構以外の出資者である、株式会社日本政策投資銀行(以下「日本政策投資銀行」という。)及び株式会社リサ・パートナーズ(以下「リサ・パートナーズ」という。)と協議し、「しずおか観光活性化投資事業有限責任組合(しずおか観光活性化ファンド)」を設立しましたのでお知らせいたします。

本ファンドは、観光マザーファンドを活用し、静岡県における観光消費額等の増大を図る「観光周遊活性化モデル」の構築及び地域の経済・雇用を支える観光産業の発展に向けた取組支援を目的としております。

静岡県は、首都圏に近く、富士山をはじめ、海・山・温泉等、良質で豊富な観光資源を有するとともに、東海道新幹線や東名高速道路等の1次交通網も発達し、延べ観光入込客数は1億人以上(観光庁統計データより)と、東京都を除き全国でも最大水準の観光県です。しかしながら、観光入込客数は長期的に横ばい傾向にあり、観光宿泊客数はピーク時から大きく減少しており、旅館・ホテル、土産物屋、飲食店等の観光産業は全体的に停滞している状況にあります。

当機構は、パイロット地域及び静岡県全体における「観光周遊活性化モデル」として、特定地域における複数の目玉観光資源をテコ入れし、日帰りでは回りきることができない魅力あふれた周遊観光地域にすることで、宿泊需要を喚起し観光消費額の増大を図ることを目指しており、そのために、本ファンドを通じて、リスクマネーの供給及び専門家によるハンズオン支援を行います。目玉観光施設のテコ入れ策としては、静岡県内の野菜・果物・魚等の地域産の食材を使った料理や加工品、観光客に人気の高い酒蔵・ワイナリー・クラフトビール等の『食』も一つのテーマとしていきたいと考えております。

パイロット地域としては、静岡県内で複数の地域を選定しており、本地域において「観光周遊活性化モデル」を実現することで、成功要因を抽出し、本モデルの静岡県全体への展開を図ります。

本モデルの実現に向けて、当機構内の専門家だけでなく、株式会社静岡銀行、日本政策投資銀行及びリサ・パートナーズの知見・経験を活用するとともに、地域における有力観光事業者・交通事業者、地元行政体等とも積極的に連携することで、ノウハウの集約を図っていく考えです。

なお、観光マザーファンドは、昨年4月に観光産業というテーマ特化型ファンドとして、当機構、日本政策投資銀行及びリサ・パートナーズとの3社共同で設立されたファンドであり、「しずおか観光活性化ファンド」は、観光マザーファンドと地方銀行が連携して組成した第1号のファンドとなります。

本ファンドの概要は以下のとおりです。

名称	しずおか観光活性化投資事業有限責任組合
設立時ファンド金額	1,000百万円
設立日	平成27年3月31日
設立時組合員構成	(株)静岡銀行 観光活性化マザーファンド投資事業有限責任組合 静岡キャピタル(株) REVICキャピタル(株)
存続期間	約7年間
業務運営者	REVICキャピタル(株)、静岡キャピタル(株)

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化オフィス: TEL 03-6266-0380